

# 冰山モデルで考える自立支援と行動支援

(要因になる特性 × 環境・状況 × 気づき・記憶)

Ver.2

自立が難しい・般化が難しい

課題になっている行動・考え方

## 【要因となる環境・状況】

- **様々な状況の変化**
  - ・ 予定、人、物の配置などの変化
  - ・ 習慣になっていることの変化
  - ・ 今まであったものが無くなる など
- **影響を与える刺激や情報**
  - ・ 様々な刺激がある
  - ・ 様々な情報が見える・聞こえる
  - ・ 複雑でわかり難い指示・情報
  - ・ 複雑でわかり難い環境
  - ・ 関係のない刺激や情報 など
- **必要な支援がない**
  - ・ 必要な指示がない
  - ・ 終わり等が提示されていない
  - ・ 見通しが提示されてない
  - ・ 本人にあった指示ではない
  - ・ 注目できにくい指示になっている
  - ・ 環境が整理されていない
  - ・ 物や本人の場所の提示がない
  - ・ 代替コミュニケーションがない
  - ・ 刺激が統制されていない など

## 【要因となる自閉症の特性】

- **受容コミュニケーションの特性**  
言語指示の理解の困難さ、字義どおり理解する、言語指示を整理してつかむことができない など
- **表出コミュニケーションの特性**  
無言語、エコーリア、声の調子やリズム、意思交換の困難さなど
- **社会性・対人関係の特性**  
一人でいることを好む、アイコンタクトやジョイントアテンション、セオリ・オブ・マインドの困難さ、自発的にかかわりをもつことの困難さなど
- **転導性・衝動性注意・注目の特性**  
転導的・衝動的な行動、切り替えの困難さ注目することの困難さなど
- **時間の整理統合の特性**  
日程の計画や調整、活動や手順の調整、実行機能の困難さなど
- **空間の整理統合の特性**  
自分の位置や材料や道具の位置の調整、1つの場所の多目的利用の困難さなど
- **変化の対応の特性**  
場所、物、人、予定、習慣の変化の不安・抵抗、強迫的な行動、ルーティンの必要性など
- **般化の特性・関係理解の困難さ**  
習得したスキルや人や物への対応を他の場面、違う文脈で状態が変わる。材料・場面・指導者が変わったときに課題を遂行できない。関連づけしすぎる、自己流の解釈、字義どおりの解釈、絵などを具体的にとりすぎる。など
- **記憶の維持の特性**  
短期記憶・作業記憶の維持の困難さなど
- **長期記憶の特性**  
長期に脳に維持される記憶、経験した記憶が消せない特性など
- **感覚の特異性**  
視覚刺激、聴覚刺激、味覚刺激、嗅覚刺激、触覚刺激などによる反応、または鋭敏さ、鈍感さ など
- **微細運動・粗大運動**  
手と目の協応の困難さ、手先の不器用さ、緊張のある動き、柔軟さのない体全体の動きなど

## 【要因となる本人の気づき・記憶】

- **習慣になっているものがある**  
いつもと同じ流れ、習慣があり修正が難しい内容。例えばパターン化された生活になって変更が難しいこと
  - **自分流の気づき・考え方をもつ**  
物事の関連付けやルールなどを自己流で解釈している内容
  - **過去に経験したことや学んだことを修正できない**  
過去の体験や人から教えてもらったことで修正が難しい内容
  - **過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感がある**  
過去の経験を思い出しパニックになったり、混乱や恐怖・嫌悪感による様子が見られる など
- ※ フラッシュバックもこの項目に入ります  
※ 誤学習した内容もこの部分に入ります。

相互作用

影響

## 指導・支援計画

- ・ 本人が理解できる視覚的な情報で伝える
- ・ 本人が学習・活動しやすい環境設定にする
- ・ 影響をうけている刺激・情報を統制する
- ・ 場所、課題の境界を明確にする
- ・ 生活シナリオの見直しをする
- ・ 情報の量を調整する
- ・ 情報を整理して伝える
- ・ 見通し、終わりなどを視覚的に伝える
- ・ 材料や道具を容器などで整理して提示する
- ・ 代替コミュニケーションやリンマインダーを準備し教える
- ・ 経験させないように工夫する
- ・ 他の活動を充実させる
- ・ 習慣を活用する
- ・ 機会を設定する
- ・ 自分の考えや他の人の考えを表にして整理する など

## 活用する・参考にする

### 【活用できる資源】

- **すでに活用している手だて**  
エリアの設定、スケジュール、手順書など
- **活用しているサービス、事業所**  
療育機関の利用、通院場所、福祉サービス など
- **学校や事業所で活用できるエリア・設定**  
1対1の勉強のエリアがある、現場実習先がある など

### 【活用できる本人のスキル】

- **理解できている情報(具体物・写真・文字など)**  
具体物、写真、絵、単語、文字、色、形 など
- **持っている概念**  
プットイン、1対1の対応、個数、時間、お金など
- **持っているスキル**  
日常生活動作、道具の使い方、職業スキル、余暇スキル など

### 【活用できる本人の気づき】

- **身についた習慣がある**  
終わりの・first~,then~の習慣、ルーティンの活用ができる など
- **学んでいる情報、知識**  
知っている意味や概念、情報 など
- **他でも活用できる本人の考え方**  
他人の物は許可を得てから使う など